

平成30年度

事業計画書

社会福祉法人 徳慈会

平成30年度さくら苑事業計画

1 基本理念

「基本的人権」「利用者の立場に立つて」を基本理念とし、利用者及びご家族の皆様から満足と笑顔が返ってくることを励みに、「思いやりのこころ」で介護に努めます。

2 運営方針

1) 利用者の生活の質の向上

利用者一人一人のニーズと意思を尊重し、観察力を怠らず可能性の実現と生活の質の向上に努める。

2) 公平・公正な施設運営の厳守

利用者の生活と人権を擁護する為、自己点検を強化し公平・公正な開かれた施設運営に努める。

3) 従業員の資質・専門性の向上

常に誠意をもって質の高いサービスが提供出来る様、自己研鑽に励み専門性の向上に努める。

4) 地域との交流を拡大

地域との交流を促進し、ボランティアの受け入れを拡大し「開かれた介護施設」として利用されるよう努力する。

3 事業目的

様々な事情によって家族と離れ、ホームを「生活の場」とされている方々の為にさくら苑は「生活の場」を提供し、共に生活する喜びを分かち合っています。この『生活の場』を職員が認識しつつ『明るくて元気で温かな心安らぐ施設』を目指して行く。

4 事業計画

1) 職員の育成

各種の施設内・外研修に積極的に参加し、専門性としての知識の習得・技術の向上に努める。

2) 処遇計画

定期的にケース会議を行い、入所者個々のADL・問題行動の内容を検討し統一処遇の徹底と問題の解決に努める。

3) 環境の整備

質の向上に努める。

季節の花を咲かせて利用者や地域の人にも「憩いの場」として利用して頂けるよう、明るく住みよい環境づくりに努める。

② 利用者周辺の整理整頓に努め、特に換気に注意をする。

4) 家族との交流

利用者の精神的なより所となるよう、家族・親族への良好な援助に努める。特に月1回以上の面会及び、正月・盆等の外泊等に働きかけ、更に施設行事への参加を促す。

5) 健康管理

利用者の身体的・精神的状態を的確に把握し、協力病院と常に連絡をとり、疾病予防に努める。

6) 防災計画

利用者の安全を保つため、防災対策を把握し、災害の未然防止を期する。
避難訓練・消火訓練を定期的実施する。

7) 地域交流

地域に開かれたホームとして利用者も地域の一員として受け止め、在宅の老人福祉に寄与していく事業を積極的に行っていく。

8) 個人情報保護

個人情報保護法の全面施行に伴い、個人情報についてはその目的や状態を問わず、個人情報の性格と重要性を認識し、同法律の規定に基づき漏えいのないよう厳格な確保に努める。